

# 1年社会科 学習指導案 授業者 寺本 誠

## 1 単元の概要

単元名 中世

A(1) 「武士の政権の成立～鎌倉幕府はなぜ将軍を殺したのか～」

	目標	評価規準	評価資料
知識・技能	頼朝時代の政治から北条氏による政治への変化について、幕府と朝廷の関係などから理解する。	頼朝時代と北条氏時代の幕府の政治体制について、表ツールを使用しながら比較し、鎌倉幕府の特徴を捉えている。	表ツール（マトリックス）の分析
思考・判断・表現	源氏将軍が途絶えた後も、北条氏による幕府政治が長く続いた理由について、両者の政治の共通点や違いを多面的・多角的に考察するとともに、創造的思考を發揮しながら武士にとっての理想の国づくりに必要な手立てを構想し、表現することができる。	武士にとっての理想の国のあり方について、権力、朝廷、御家人、庶民等、様々な立場から検討し、スライドの作成を通して生徒自身が立てた問いに基づき、具体的に構想し、表現している。	武士が理想とする国づくりスライド
主体的に学習に取り組む態度	武士にとっての理想の国を構想するにあたって、自分の関心に基づいて問いを設定するとともに、新たな枠組みや改善案を提案することができる。	武士にとっての理想の国のあり方について、自ら問いを設定し、新たな枠組みや改善案を提案している。	問いの内容、授業時の協働の様子、単元ごとのふりかえり

## 2 単元の展開

### 単元の流れ（全8時間）

1	武士とは何か
2	武士の成長
3	院政から武士の政権へ①
4	院政から武士の政権へ②(源平の争い)／鎌倉幕府の成立
5	武士と民衆の生活
6	鎌倉時代の仏教
7	北条氏による執権政治①(本時)
8	北条氏による執権政治②/中世前半のまとめ

### 本時（7／8時）の流れ

#### 本時の目標

武士にとって理想の国のあり方を構想し、自ら問いを立てて探究し、スライドで表現する。

1. 北条氏が実質的に権力を握った後も長く幕府が続いていることに気づかせる。(10分)
2. 源頼家が第二代将軍となった際、御家人13人の「合議制」が生まれたことを理解する。(10分)
3. ジャムボードを使って、学習班ごとに頼朝時代の政治と頼家以降の政治を比較するマトリックスを作成する。(10分)
4. 「東国に武士たちの理想の国をつくるとしたら」というテーマで、学習班ごとにスライドの構想・作成を行う。(15分)
5. 本時のまとめ(5分)

# 社会科研究授業での、創造的活動×創造的思考×教科の見方・考え方

## ①創造的活動

武士の理想の国づくりを構想し、仲間と協働しながらスライドにまとめる。

## ②創造的思考

・歴史的事実や資料を基に、創造的思考(解釈を創り出す力)を働かせ、自分なりの論を立てる。  
・武士の理想の国を実現するための条件を、合議制メンバーの一員としての立場で構想する。そして、その条件を現代の視点に立って表現を工夫する。

## ③歴史的な見方・考え方

頼朝の死後の幕府の政治体制の変化・推移に着目し、分析する。

## スライドのフォーマット

### 武士の理想の国を実現するために

目的:どのような国を目指すのか

#### <方法>

幕府の権力はどのようにあるべきか  
例)合議か集中か

朝廷との関係はどのようにあるべきか  
例)距離を近づけるか離れるか

御家人との関係はどのようにあるべきか  
例)将軍と御家人の望ましい関係は

庶民との関係はどのようにあるべきか  
例)武士と庶民が良好な関係を築くには